

美しい里山回復を

浜松の4社とNPO

森づくりリソースト設立

企業に参加を呼び掛け

企業の社会的責任（CSR）活動で森林の再生に取り組む浜松市内の企業四社が、任意団体「静岡県西部森づくりCSR協働推進協議会」（略称・森づくりCSRトラスト）を立ち上げた。林業の衰退で荒れた天竜川水系の人工林を協力して整備し、美しい里山の風景と生態系の回復を目指す。民間企業が連携して行う森林トラストは全国でも珍しい。

四社は、遠鉄システムサービス（中区）、住宅保守・改修のアイシーコンサルティング（同）、輸送機器部品製造の丸山コーポレーション（南区）、廃棄物処理のリサイクルクリーン（天竜区）。

いずれも、森林整備技術を指導するNPO プレンティアの森（中区）が、二〇〇九年度に浜松市と実施した天竜区小堀谷地区の市有林の再生活動に参加。

昨年三月で市が事業協議会を結成した。

現在は、小堀谷地区の市有林を各社が約一畝ずつ借りて活動している。今後は市有林のほか、近くの民有林にも範囲を広げ、初年度に十二畝まで増やす計画だ。

協議会の代表幹事に選任された遠鉄システムサービスの鈴木智淑・総務企画課長は、「社会貢献だけでなく、社員が家族ぐるみで森づくりを楽しめる福利厚生の意味も大き



間伐した木の枝で箸作りに挑戦する社員ら。家族も参加して楽しみながら社会貢献を目指す。浜松市天竜区で

い」と、活動への期待を示す。

事務局長の水野博・同NPO代表は「生態系が豊かで利用価値の高い森にしたい」と意気込み、関心のある企業の参加を呼び掛けている。問い合わせは、同NPO＝電053（473）1510へ。